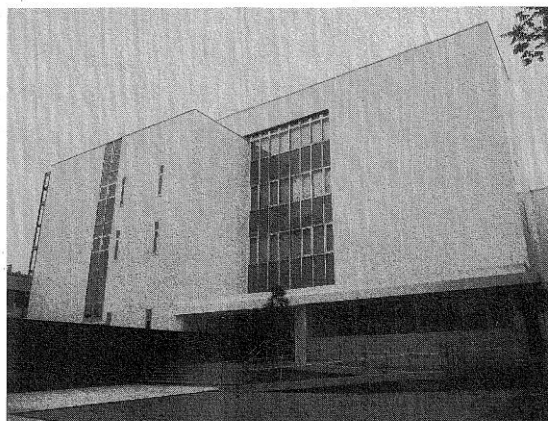


# 日本の活力を支える



**新研究棟が完成**  
3部門を集約、強化

産業技術総合研究所関西センター（大阪府池田市、長谷川裕夫センター所長、072-751-960）の新たな研究棟「関西センター」が、4月1日、新棟は3階建て、約1800平方メートルの敷地に建設された。延べ床面積は約4400平方メートル。新棟は「電池技術」と「医療技術」を基盤技術とし、それぞれを支援する「情報技術」と「材料技術」の4部門体制で研究活動を推進する。長谷川センター所長は今後の方向性について「技術と産業の橋渡し」として、役割を担い、研究成果の事業化を推進していく」と説明する。

他の地域の研究施設や、国家戦略を踏まえた国際的な連携も重視する。特にバイオメディカル研究では、つくばセンターの強化を図る。細胞や創薬基盤の研究で、インドやインドネシアなど海外での活動にも力を入れる方針。今年7月には、インド国内に研究ラボを開設する予定だ。

## 環境に優しい「高水圧」を活かした技術

創造する技術で貢献する

High Pressureを極める High Precisionを重んじる

**HYPREX**

ECSを活かす REXの風格を持つ世界のブランドに

問題解決型・提案型で貢献する

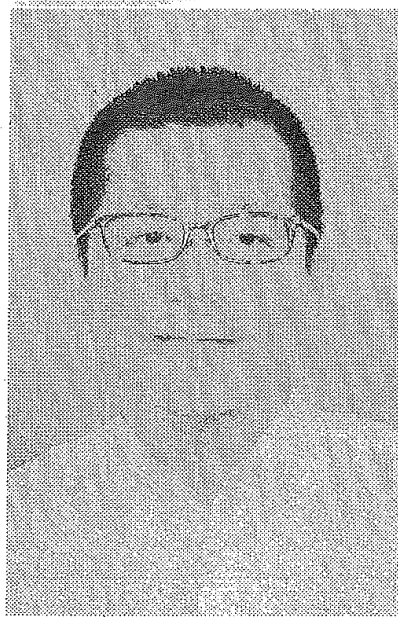
高水圧と軸圧縮力を加えて成型する  
「柱上開閉器ボディーケース用ハイドロフォーム」

燃料電池自動車用高圧水素容器  
「安全性評価試験機」

山本水圧工業所 <http://www.hyprex.co.jp/>

〒561-0835 本社・工場 大阪府豊中市庄本町2丁目8番8号 TEL.06(6334)4651 本社 FAX.06(6331)2516 E-mail:yamasui@hyprex.co.jp

〒105-0013 東京営業所 東京都港区浜松町2丁目3番24号 TEL.03(3459)8585 東京 FAX.03(3459)8769 E-mail:yamasut@hyprex.co.jp



山本水圧工業所  
山本 知弘社長

高水圧技術と塑性加工技術の「HYPREX」ブランドのもとで、ハイドロフォーミングマシン、NCパイプベンダー、耐圧試験機などを提供している。景気感は上向き、当社のパイプベンダーも動いている。ただ、景気が良い時期の生産設備は量産に伴うもの。当社は顧客が抱える問題をオーダーメイドで応える「宿題解決型」企業。当社を取り巻く環境は悪くはないが、景気が落ちてきた頃、生産方法であったり、宿題を頂いて当社の強みを発揮している。

2015年度は一段のニーズに応えるため、会社のコアとなる技術をブラッシュアップしていく。水圧の高圧化・高精度化

海外拠点のベトナムについては設立から3年が経過し、現地設計担当者も育ってきた。従来は日本からマネージャーが現地に赴き仕事の指導などにあたってきたが、4月からベトナム人のサブマネージャーを置き、現地スタッフで仕事が回せるまでになっている。

などに取り組み、種々の塑性加工についても今までの限界を超えるような実験も行いたい。素材ではハイテン材（高張力鋼板）にも取り組む。

ただ、一番磨かないといけないのは「顧客が何を望んでいるか」を把握すること。その姿勢が重要だ。

# オーダーメイドで顧客対応